



1. 3階から吹き抜けのギャラリーを見る
2. 東側夜景
3. 北側俯瞰



日建連表彰2021



第62回BCS賞

ミライオン

(長崎県立長崎図書館、大村市立図書館、大村市歴史資料館)

選定理由 【選考委員】
伊香賀俊治・赤松佳珠子・尾崎勝

長崎のおおらかな自然と呼応した「ひとつ屋根」に覆われた、県庁所在地以外に建つ施設として日本初となる長崎県・大村市一体型図書館である。地震力を負担し、職員と書籍の居場所となる書庫エリアと、複数階にまたがる利用者エリアを湾型段状にずらすことによって、連続した一連なりの空間を形成している。それらの空間を軒の深い大きな「ひとつ屋根」で覆い、書籍劣化に繋がる直接光を避け、空調負荷を削減しつつ、すべての閲覧エリアから緑の広場を望むことができ、外部への開放性を両立した新しい図書館環境モデルを創出している。また、長崎県対馬から切り出された直径約三五〇mmのスギ丸太の辺材を「ひとつ屋根」の天井ルーバー材に、心材を書架側板や閲覧席

の脚部に用いることで、製材ロスを最小限に抑えつつ、時間的な変化によつて深みを増す木材を空間の主要素に採用することによって、居心地のよい一体空間が創出されている。

施工面では、多角的に湾曲し、一カ所として同一断面がない複雑な扇形の屋根を工期内に正確に施工するための様々な取組みがなされている。敷地内に実物大モックアップを作成し、鉄骨の納まり、屋根仕上材、断熱材、天井木製ルーバー、設備機器類まで含めた納まり確認と内部足場の高さ検証を行っている。次に、屋根を構築する鉄骨に関して、工事進捗状況に連動させた三次元および二次元のCADの図面進捗管理と鉄骨製作期日の指導と共有が図られている。屋根鉄骨を支える支柱足場の足場計画図は、鉄骨三次元CADからBIMを作成し、支えるピンポイントのレベル・位置

を算出し、支柱を架設した。そのほか、鉄骨溶接手順、鉄骨建方工程の検討、住宅地に隣接する立地としての工事中騒音振動対策など、様々な施工面での取組みが行われている。

環境面・維持管理面では、「ひとつ屋根」に降った雨は緑の広場に導かれ、地中浸透と貯水によって、自然浄化・涵養され、閉鎖的海域の大村湾の水質改善と土砂流出を抑え、施設全体が地域のグリーンインフラにもなっている。断熱性能の優れた屋根に、ハイサイドライト、西

側小庇によるライトシェルフによる自然光導入、赤外線アレキセンサを用いたオンデマンド照明・空調制御など、「建築・構造・環境」を一体化した環境設備計画と運用後の実測によつて一次エネルギー消費量六二%削減を達成するとともに、公共図書館初のZEB Ready認証を取得している。

以上の通り、建築主・設計者・施工者が三位一体となつてはじめて実現できる作品として高く評価でき

ミライオン
(長崎県立長崎図書館、大村市立図書館、大村市歴史資料館) 概要

- 所在地 長崎県大村市東本町481
- 建築主 長崎県、大村市
- 設計者 (株)佐藤総合計画、インターメディア一級建築士事務所、(株)ランドスケープ・プラス
- 施工者 戸田建設(株)、(株)上滝、(株)堀内組
- 竣工日 2019年1月31日

- 敷地面積 16,224㎡
- 建築面積 5,055㎡
- 延床面積 13,507㎡

- 階数 地上6階
- 構造 鉄骨造



詳細や他の写真などは
左記のQRコードからWebページに
アクセスしてご覧ください。

《日建連表彰2021 第62回BCS賞受賞作品》 有明体操競技場/大宮区役所・大宮図書館/軽井沢風越学園/The Okura Tokyo/大倉集古館/渋谷ストリーム/昭和電工(大分県立) 武道スポーツセンター/大丸心斎橋店本館/高崎芸術劇場/知立の寺子屋/日本橋室町三井タワー/日本橋スマートエネルギープロジェクト/東大阪市文化創造館/福田美術館/松原市民松原図書館「読書の森」/ミュージアムタワー京橋/ミライオン(長崎県立長崎図書館、大村市立図書館、大村市歴史資料館)

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2021年で62回を数えました。